

週報 みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

**平成26年度 水産多面的機能発揮対策事業
地域・活動組織等関係者会議
—2月17日 華王殿にて—**



三重県水産多面的機能発揮対策協議会は、2月17日(火)に華王殿にて、「平成26年度水産多面的機能発揮対策事業 地域・活動組織等関係者会議」を開催した。

同事業は、漁業者らを中心とする、環境保全対策や漁村文化の伝承などの取り組みを行う組織に対し、国が支援をするもので、現在、三重県内には海面、内水面を合わせて33組織が活動をしている。

会議では、年度末の事務手続き等の説明や、各活動組織からの取り組み状況の報告が行われたほか、また全漁連のサポート専門家も加わり、活発な意見交換が繰り広げられた。活動組織の2年間の取り組みの成果と、今後の活動に対する強い意欲が感じられる会議となり、次年度の取り組みに期待がかかる。

**漁業経営セーフティーネット構築事業
平成27年度申込はお急ぎください！**

漁業経営セーフティーネット構築事業の平成27年度新規申込みと、継続加入者の数量設定申込みの締切りが迫っています。

同事業は、燃油と配合飼料の価格高騰に備え、国と漁業者とがあらかじめ積立てを行い、価格が一定の基準を超えた場合に、積立ての範囲内で補てん金が交付されるもの。期中の加入・積み増し等が出来ないため、今回の締切りを逃がすと、平成28年度まで加入することが出来ません。燃油対策の申込み締め切りは3月23日(月)まで。(配合飼料の申込みは現在調整中のため、後日ご案内します。)この機会に事業のご活用をご検討ください。

申込方法などの詳細は漁連指導部 (TEL:059-228-1205) まで。

**機関紙「～海と生きる～かいせい」
第2号を発行**

三重県の漁業やその魅力を多くの方に知ってもらおうと、三重県漁協青壮年部連絡協議会や三重県漁協女性部連合会が中心となり発行している「～海と生きる～かいせい」の第2号が発行された。

第2号は、第1号に引き続き、漁師へ

の密着インタビューや郷土料理のレシピ紹介のほか、三重外湾漁協の移動販売車への取材記事、漁連新人職員が三重県総合博物館「MieMu（みえむ）」で学んだ水産の魅力をまとめた記事も掲載されている。

その他にも、アンケートに答えていただいた方の中から、抽選で3名様に「外宮奉納セット（伊勢まぐろ・伊勢まだい・伊勢あさくさ海苔）」が当たる懸賞コーナーも設けられ、三重の浜の魅力が満載。

製作を担当した漁連職員は「第1号よりも、ボリュームが増え、読みごたえのある情報誌になっていると思います。かいせいを読んで、三重の漁業の魅力を知ってもらい、そして味わってもらえれば嬉しいです。」と話している。

「～海と生きる～かいせい」に関するお問合せは漁連指導部（担当：林）まで
TEL：059-228-1205

表紙の写真「伊勢海老のお雑煮」のレシピも紹介しています♪



第6回 日本さかな検定（ととけん）開催

全国各地の豊かな魚食文化や魚の知識、美味しい食べ方など、日本人の心身

を育ててきた魚食の魅力を、検定を通じて再発見し、魚との“旨い”出会いを応援する取り組みとして、日本さかな検定、愛称「ととけん」が6月28日（日）に開催されます。

6回目となる今回の検定は、過去最大の11会場で行われ、三重県では尾鷲の三重県立熊野古道センターで行われる予定です。

申し込み締め切りは、5月27日（水）、インターネット申し込みの他、郵便局での申し込みも可能です。詳しい内容は下記HPまで。

日本さかな検定HP
<http://www.totoken.com/>

緑の募金運動 協力をお願い

公益社団法人国土緑化推進機構は、地球規模での「国民参加の森林づくり」を推進するため、毎年4月15日～5月14日までの1か月間を「みどりの月間」として定め、全国一斉に緑の募金運動を開始します。世界規模で森林の重要性についての関心が高まっている現状を踏まえ、同機構は「緑の募金でふせごう地球温暖化」をスローガンとし、国民への協力を呼びかけています。

森林の果たす役割をご理解いただき、緑の募金運動へのご協力をよろしくお願い致します。

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。